

水道施設整備の状況

平成17年度に行った工事は、次のとおりです。

区分	工事内容	事業費
送配水管新設工事	幹線となる配水管を布設し、水道水の安定供給を図るための工事を行いました。	5,024万円
送配水管改良工事	赤水発生の解消や地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良（更新）工事を行いました。	364万円
送配水管移設工事	公道の拡幅工事や下水道工事などに伴い、配水管の移設工事を行いました。	1,087万円
その他の送配水の工事	配水管工事に伴う道路の舗装復旧工事や栄町地区水質自動測定装置設置工事、美園ポンプ場新設工事などを行いました。	1億 420万円
水道メーター取り替え工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え（8年ごと）の工事を行いました。	2,037万円
その他の設備工事	登別温泉浄水場の薬注設備設置工事や外壁改修工事などを行いました。	5,130万円



▲美園ポンプ場



▲登別温泉浄水場

財産の状況

バランスシート（貸借対照表）は、企業の財産の状況を明らかにするため、保有するすべての資産や負債、資本を表示したもので、株主などに会社の経営内容を知っていただくために作成される報告書です。

次の表は、平成17年度末現在の水道事業の財産の状況を表したものです。

【バランスシート】

区分	金額	区分	金額
固定資産	83億8,435万円	流動負債	1億1,097万円
有形固定資産（建物・配水管・水道メーターなど）	83億8,435万円	未払金（未払いの債務）	6,005万円
		前受金（概算払いの水道料金）	17万円
		その他（下水道料金預り金など）	5,075万円
流動資産	3億9,500万円	資本金	69億6,827万円
預金現金（手持資金）	3億 485万円	自己資本金（建設改良積立金の取崩額など）	12億5,454万円
未収金（未納水道料金）	8,657万円	借入資本金（企業債）	57億1,373万円
貯蔵品（たな卸資産）	355万円	剰余金	17億 11万円
その他流動資産（その他）	3万円	資本剰余金（工事負担金など）	14億6,332万円
		利益剰余金（減債積立金など）	2億3,679万円
資産合計	87億7,935万円	負債・資本合計	87億7,935万円



水道事業会計の決算状況についてのお問い合わせは

水道グループ

☎05 5501 ☎05 5805
Eメール：gyoumu@city.noboribetsu.hokkaido.jp

借金の状況

安定した水の供給を維持するためには、浄水場や配水管などの水道施設を常に整備していかなければなりません。この整備には、億単位のお金が必要になり、手持ちのお金では賅うことができません。

そこで、国などから借金をして、水道料金の中から返済しています。水道事業では、この借金を『企業債』と呼んでいます。

また、この借金は、現在、水道を利用している市民だけではなく、将来、利用する市民にも公平に負担していただくという目的もあります。

平成17年度末現在で借入元金の残高は、上表のとおり57億1,373万円となっています（給水人口1人当たり10万8,477円）。